

## コクーン歌舞伎

東京・渋谷のBunkamura内の劇場、シアターコクーンで行われる歌舞伎公演。初演は1994年。1996年以降は串田和美が演出を務め、古典歌舞伎の演目を新たに演出している。本水、本泥の使用やポップミュージシャンの起用など話題を呼んでいる他、客席には座布団の「平場席」が設けられるなど、現代の劇場で歌舞伎公演の雰囲気味わえる。2014年上演の『三人吉三』は、シネマ歌舞伎として映像化され、本年6月27日(土)より公開される。

## 意外性に満ちた演出 新しいことに挑む、コクーン歌舞伎

いとうせいこう (作家・クリエイター)

コクーン歌舞伎では『佐倉義民傳』のお手伝いをさせていただいた。義太夫節での詞章をすべて韻文にし、ラップとしてリズムに載せるという試みの担当であった。妙に目新しいことをやったイメージがあるが、当時何回か書いたように歌舞伎は音楽劇なのでその時代ごとに流行した節を積極的に使ったのである。その意味では私たちはヒップホップ節を歌舞伎に取り入れただけだ。こうした「伝統の原則に忠実であることで逆に新しいことに挑む」姿勢がコクーン歌舞伎の基本になっていると思う。公演時はよく大部屋にいた。役者のラップを修正するためである。座付き作家の気分を存分に味わわせてくれたのもコクーンだ。

いとうせいこう 1961年、東京生まれ。早稲田大学法学部卒業後、出版社の編集を経て、音楽や舞台、テレビなどの分野でも活躍。



公演名: NEWシネマ歌舞伎「三人吉三」6月27日(土)公開

監督: 串田和美 出演: 中村勘九郎、中村七之助、尾上松也 制作・配給: 松竹株式会社 Photo / Akio

